

## はじめに

近年の様々な調査の結果から、奈良県の教育課題の一つとして、子どもの規範意識の低さがあり、平成21年度には、外部有識者等からなる「子どもの規範意識向上推進委員会」を立ち上げ、児童生徒の規範意識の向上について協議を重ねていただきました。

さらに、平成22年度には「子どもの規範意識向上推進委員会」から不登校委員会を独立・拡充させ、「不登校対策委員会」を立ち上げました。

「不登校対策委員会」では、奈良県の子どもたちの不登校の状況について様々な議論いただき、現場の先生方を中心とした「不登校対策小委員会」とともに、教員や学校に向けたアンケートを実施し、教員の意識や学校の対応についてデータを集め、「提言」とともに不登校支援の手引きとなる『不登校支援のしるべ』を作っていただきました。

『不登校支援のしるべ』では、不登校の支援モデルを示しながら、不登校の状態に応じた支援のあり方を示し、先生方が不登校児童生徒や保護者に対する対応に自信をもってあたるよう、具体的な行動を示していただきました。

私は、「愛を基盤として知力・体力・忍耐力を身に付けて、正々堂々と生きる子どもを育てる」を県教育委員会のスローガンとし、全ての施策の基にしたいと思っています。各学校においては、すべての教員がこの冊子を活用し、愛を基盤とした取組を一層進めていただき、本県の子どもたちへの援助・指導に役立てられることを願っています。

最後になりましたが、「不登校対策委員会」の委員長を務めていただきました天理大学 教授 千原 雅代 様をはじめ各委員の方々に心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

平成24年 3月

奈良県教育委員会教育長

富岡 将人